

「市民は地域（まち） を変えられるか？」

神奈川の自治体は、様々な先駆的な自治体政策を編み出し、また市民自治を進めてきました。市民運動の歴史を持つ神奈川は多くの市民活動団体やNPOが育ち、今では自治体と協働して、新しい公共を担う主体となっています。2006年に横浜で開かれた自治体学会創立20年大会に当たり、自治体は「市民の政府」であり、これからはそれを目標に、活動・研究・実践を行うべきであると提唱されました。自治体が市民のモノとなり、主体性をもたなければ「まちづくり」の面でも、個性ある美しい「まち」にはなりません。「まちづくり」の課題は多いのですが、これこそ自治体が行うべき具体的な実践で示さなければならぬものです。

今回のフォーラムの開催地である神奈川県逗子市では、かつて57年前、横須賀市から分離独立を住民投票によって選択しました。また、池子米軍家族住宅建設問題を巡り、幾度もの選挙を通じて、自らの意思を示してきた歴史があります。それはまさに市民による市民のための政治を実践してきた歴史です。逗子市の市民自治と自治体政策の歩みを振り返り、現状を確認し、さらに、新しい時代を切り開くための市民の「知」と「力」について考えます。さまざまな活動を重ねてきた講師・出演者から過去と現在、未来を語っていただきます。

平成20年7月5日（土）午後2時～5時30分

逗子文化プラザホール 〒249-0006 神奈川県逗子市逗子4丁目2番10号

☎ 046-870-6622

裏面地図参照

◎参加費：一般1,000円（学生500円）…エクスカーションを含む。

◎交流会：4,000円 裏面の申込書にてお早めにお申込ください。

●プログラム（予定）●

午後0時00分 逗子市内エクスカーション —— 京急急行「神武寺駅」改札口集合
池子米軍住宅前、一部返還地、駅前商店街などの現地視察を予定

1時30分 開場

2時00分 第1部「池子の緑を守るたたかい・市民自治を考える」

—— 鳴海 正泰 さん / 関東学院大学名誉教授・横浜地方自治研究センター理事長
鈴木 庸夫 さん / 千葉大学法科大学院教授
他（当時の市民活動家の逗子市民を予定）

3時40分 第2部 特別対談「市民は地域（まち）を変えられるか？」

出演者 平井 竜一 さん / 逗子市長

富野 暉一郎 さん / 龍谷大学教授・元逗子市長

5時30分 閉会 <終了後、6時から逗子海岸海の家で1時間半程度の交流会を予定>

●お申込み・お問い合わせ先

特定非営利活動法人 **まちづくり情報センターかながわ**

TEL/045-212-5835

FAX/045-212-5826

E-Mail/alice@jca.apc.org

※ お申し込みは、EメールかFAXでお願いします。

参加申込書

E-Mail

alice@jca.apc.org

(内容をメール本文に貼り付けて、お送りください。)

FAX

045-212-5826

(必要事項を記入の上、このままお送りください。)

お名前

6月27日(金)までに

EメールまたはFAXでお申し込みください。

※ できるだけ、Eメールでお申し込みください。

● 連絡先等

所属 _____ TEL _____ FAX _____

メール _____ @ _____

該当するものに○をつけてください。(エクスカーション・フォーラム・交流会)

登壇者プロフィール

鳴海 正泰さん(なるみ・まさやす) 関東学院大学名誉教授、横浜地方自治研究センター理事長

1931年生まれ。東北大学文学部卒、福島大学を経て、東京都政調査会研究員、横浜市に入り、飛鳥田革新市政のなかで企画調整局専任主幹、関東学院経済学部教授等を歴任、現在に至る。1993年に逗子市編集の『池子の森-池子弾薬庫返還運動の記録-』(ぎょうせい)の作成にもあたった。

鈴木 庸夫さん(すずき・つねお) 千葉大学法科大学院教授

1947年生まれ。千葉大学教養学部助教授、千葉大学法経学部助教授、千葉大学法経学部教授を経て、2004年から現職。その間、シドニー大学名誉客員教授などを務める。逗子市では1991年に当時の富野市長から、逗子市都市憲章調査研究会の委員として「都市憲章条例」の調査研究を委託され、報告書をまとめた。

平井 竜一さん(ひらい・りゅういち) 逗子市長

1966年生まれ。早稲田大学社会科学部卒業。企画設計会社の(株)アスクプランニングを経て、1998年逗子市議会議員に初当選(トップ当選)し、以降3期連続当選。2006年4月から逗子市議会副議長を務め、同年12月に逗子市長に初当選。市民派の議員としての政治姿勢と政策を貫き、市長としては行政の徹底した簡素化・効率化と、市民協働による自治体経営の新しい仕組みづくりを目指している。

富野 暉一郎さん(とみの・きいちろう) 龍谷大学法学部教授・元逗子市長

1944年生まれ。東京大学大学院理学系研究科修士課程修了。博士課程中退後、(株)双立工業所専務取締役、(株)ヘリオス取締役社長。1984年から3期8年間逗子市長。島根大学法文学部教授を経て、1999年4月から現職。逗子市長時代には市民自治に基づく行政を推進し、大学においては、地方自治論および地域経営論の研究を進め、地方自治を地球規模の新たな枠組みの中に位置付けをするグローカリズムを提唱している。

会場案内図



逗子市逗子 4-2-10 逗子文化プラザホール

電話 046-870-6622(代表)

京浜急行「新逗子」駅より徒歩2分/JR「逗子」駅より徒歩5分

市内エクスカーション集合場所 京浜急行「神武寺」駅改札口

京浜急行「新逗子」駅より乗車1駅2分